

めているからだそうです。日本では、すべての県や町で税金は同じだけれど、アメリカでは州によって違うことがわかりました。商品でも税金が0%の所や10%の所があるから、値段に差があることがわかりました。いろいろな意味で自由だなと感じました。そして、マルガリータ中学校では、日本の中学校にはない物をたくさん見つけることができました。それは、職員室が無く、担当教科の部屋がその先生の教室になるため、先生たちがその教科を少しでも好きになつてもらうためにいろいろと飾りつけなどの工夫をすることなどです。また、中学校でも進学試験があるのですが、生徒たちが教え合う場所などもあり、日本とは制度が全く違うなと思いました。

名和 3年

重親 凜花

ベイランランチヒストリカルサイトは、昔のアメリカを感じるとともに、アメリカのちよつとした歴史を感じるこ

とができました。以前、アメリカにはもともとネイティブアメリカンという人たちがいたけれど、他国の人たちから追いやられてアメリカができたといいことを聞いたことがありましたが、テメキュラで聞いた話は、その歴史のもつと詳細な話でした。カウボーイがいろいろな文化や知識を持つてやって来てワイナリーも始まったそうです。カウボーイが長靴をはいているのは、毒蛇から身を守るためなのだという事など、教科書には書かれていないことを本場で知ることができて良かったです。

日本文化紹介では、うまく伝えることはできなかったけれど、一生懸命教えることはできました。折り紙を伝えようとしたけれど、ドラゴンや鶴、蝶々など少し難しめの凝ったものが多く、もっと簡単なものを練習して行けば良かったかなと思いました。しかし、作った後に感動してくれたので、教えて良かったと思いました。

大山中 2年

牧 はるか

私がこの研修のことを知ったのは、中学1年生のときです。大山中学校文化祭では、その年に参加した上級生がテメキュラ市交流事業について体験発表をしていました。話を聞くと、自分のまだ見たこともない世界にとっても興味がわいてきました。日本とは違うアメリカの文化や習慣・人々の生活・環境などを実際に現地へ行って学ぶことができるなんて、またとないチャンスだと思いました。テメキュラ市を訪れてみると、姉妹都市をとても大切にしていました。テメキュラ市の市役所や図書館を訪問した時、大山町に関する展示品や大山の絵が飾られていました。「ここから先はテメキュラ市」という看板にも、姉妹都市として大山町の名前があったし、姉妹都市20周年記念日本庭園もありました。テメキュラ市のいろいろな場所に大山町に関するものがあつて、訪問している者としてとてもうれし

く感じました。大山町でも中学校以外にテメキュラ市について紹介するものをもっと増やしていきたいです。

中山中 2年

前田 遥香

「素敵な日々をありがとうございました。」私は、お世話になったみなさんにそう伝えたいです。テメキュラでは、毎日輝いていて、素晴らしいものでばかりでした。訪れた中でジェイコブズハウスが一番心に残りました。そこは、病院のお見舞いに来た人たちの宿泊施設です。「家族としての思いを大切にしたい。」という願いからできたそうです。それだけでもすごいことですが、本当に驚いたのが、ほとんどの家具が寄付されたものだところと知ったときです。そのことを知ったとき、「テメキュラにはこんなに温かい人たちがたくさんいて、良いところだな。」と思いました。ジェイコブズハウスはテメキュラの人たちの優しさを象徴する素晴らしい施設だと感じまし

た。この研修で、いろいろな方々と触れ合うことで、今まで自分が考えていた視野が一気に広がったと思つています。世界ではこんなに「人の輪」を大きくすることができると思つと、体の底からわくわくするような気持ちで溢れてきました。ここでできた輪を一生大切にします。



▶ ミッションベイビーチで